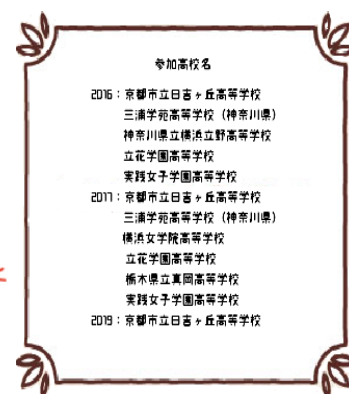




2016～

＼ 高校生大学生の視点で /

「高校生と一緒に考えるフォーラム～東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために」ワークショップを開催！



## 参加高校名

2016：京都市立日吉・丘高等学校  
三浦学院高等学校（神奈川県）  
神奈川県立横浜立野高等学校  
立花学園高等学校  
実践女子学園高等学校

2017：京都市立日吉・丘高等学校  
三浦学院高等学校（神奈川県）  
横浜学院高等学校  
立花学園高等学校  
橋本県立真岡高等学校  
実践女子学園高等学校

2019：京都市立日吉・丘高等学校

このワークショップは「女子大生の視点から考えるワークショップ（女子大生フォーラム）」に続く企画で、大学生同士という枠組みから、今回は、大学生と高校生が一同に会して2020東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために何が出来るかを考える全く新しい試みで、本学の学生が主体で全国の高校生を学校に迎えるイベントを企画・運営を行ないました。

「女子大学生の視点」また「2020年を大学生として迎える高校生の視点」という2つの視点から、競技のこと、ボランティアのこと、環境のことなど一緒に考えつつ交流を広げる取り組みを2016年より各年度様々な分野の方をお招きし、特別講演およびワークショップを行っています。

【初回2016年度】：ワーク形式でのディスカッションを行い、文化、環境、食、SNS、おもてなし、観光など、様々なジャンルからの提案が行なわれました。参加高校の和菓子の持ち寄りの企画もあり盛会となりました。



【2017年度】：ブラインドサッカー日本代表強化指定選手の田中章仁さんによる「バリアフリーな社会に向けて」と題した特別講演の後、高校生が6つのグループに分かれ、バリアフリーマップの作成に取り組みました。各グループには、ファシリテーター役の本学学生と、アドバイザー役の経済界協議会の社会人が加わり、様々な視点から議論が行われました。

【2019年度】：近畿日本ツーリストの淵山知弘さんによる「アクセシビリティツアー」と題した特別講演その後、実践女子大学の学生により、授業で自ら企画したアクセシビリティツアー企画のプレゼン、日吉ヶ高校の生徒によるキャリアゼミの中間報告が行われました。その後SDGsカードゲームを実施しました。



2016.07.

＼ 中学生と連携 /

実践女子学園中学校でオリンピック・パラリンピック連携特別授業を実施しました

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との大学連携協定のもと、2016年7月と10月の2回にわたり、法人内の実践女子学園中学校にて、中学生と大学生とのオリンピック・パラリンピック連携特別コラボ授業を実施いたしました。

参加したのは実践女子学園中学校の3年生40名と実践女子大学の学生5名で「4年後に大学1年生となる私たちが出来ることは何か？」というタイトルで授業が行われました。

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会について知り、4年間どのようなことに取り組み、大学1年生となった自分はどうにか関わることができるかを考えながら、楽しくオリンピック・パラリンピックについて学びました。

中学生、大学生、教員、それぞれの立場で一緒に学べる機会となり、とても有意義な時間となりました。



※学生の学年・教員の職位表記は2016年度のもので  
発行：2020年10月 オリパラ推進室